

都市・ひと・自然を考える
10月4日は都市ビル環境の日

2013（第19回）

都市ビル環境の日

2013 年度テーマ

ビルメンテナンス業の役割と使命
—災害時における復旧支援—



公益社団法人 福岡県ビルメンテナンス協会



公益社団法人 福岡県ビルメンテナンス協会 会長

金子 誠

自然環境変動の脅威と向き合う 都市環境の保全を目指して

今回で19回を重ねることとなりました『都市ビル環境の日』行事を本年も開催できますことへ感謝の思いをお伝えします。長年にわたりご後援賜ります福岡県・福岡市・北九州市はじめ各地域の行政機関には、たいへんお世話を頂いております。また協賛の各関係団体からも大きなご支援を賜っております。ビルメンテナンス協会員を中心に「都市ビル環境の日」の活動理念がこのように公共社会へ伸展してきたことに深い感慨を覚えるものです。この積み重ねを受けて本年のシンポジウムは「災害時における復旧支援」をテーマとして挙行することになりました。ゲリラ豪雨による都市型洪水や巨大竜巻の発生など昨今の異常気象災害はもはや常態化にあると危機認識したほうがよいでしょう。このような中、福岡県協会は県防災危機管理局との間に「災害時における復旧応援業務に関する協定」を8月2日に締結しました。シンポジウムでは、この協会の災害時復旧支援体制の臨場性を相互確認するとともに、さらに地域住民との“共助”連携を模索したいと考えています。

9月上旬に福岡県協会青年部有志を募り、二度目となる東日本大震災被災地の復旧支援ボランティア活動に就いて来ました。“津波でんでんこ”で有名になった岩手県釜石市の鶴住居小学校・東中学校の仮設校舎の奉仕清掃を実施しました。古老からの言い伝えを守り、津波襲来時には近隣の高齢者介護施設の老人も救出しながら生徒全員が奇跡の無事生還を果たした学校です。清掃作業を通じて、これら修羅場を乗り越えてきた生徒たちの笑顔と触れ合うことが出来ました。倦むことの無い日頃の防災教育の徹底と継続が生んだ生還劇であったことを痛感させられたことです。いまや都市であっても地下街への濁流浸水で人命が失われるような時代になりました。わたしたちビルメンテナンスは、「都市防災の防人」としての使命感を抱くものです。本年『都市ビル環境の日』行事に多くの方が参加され、都市機能の安全を担う気概を培われることに大きな期待を寄せて、行事開催の感謝のご挨拶と致します。



福岡県知事

小川 洋

環境衛生に対する県民の 意識の一層の高まりを期待します

「都市ビル環境の日」の記念行事が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会におかれましては、建築物の衛生的環境や安全性を確保するため、従事者の資質向上、広報活動等にご尽力され、快適な都市環境づくりに貢献しておられます。ここに深く感謝いたします。貴協会の活動の一環として、10月4日を「都市ビル環境の日」と定め、毎年実施されるこの記念行事では、シンポジウムや子ども絵画コンクール、公共の場の一斉清掃を行う「クリーンアップ福岡」などが行われ、快適で住み良い街づくりに寄与する大変意義深いものとなっています。また、昨年に引き続き自然災害等への対応をテーマにシンポジウムが開催されますことは、防災と安全に対する県民の皆さまの認識を深める上からも非常に有意義なことです。開催にご尽力いただいた貴協会の皆さまに重ねて感謝いたします。

本年8月、貴協会と本県の間で「災害時における復旧応援業務に関する協定」を締結いたしました。この協定は、一昨年の東日本大震災や昨年の豪雨災害の経験を踏まえ、貴協会の協力により、地震等の大規模災害が発生した場合に、公共建築物の清掃・消毒等による環境衛生の保持に迅速に対応するためのものです。県では、県民の皆さまの安心・安全を確保するため防災体制の一層の強化を進めているところであり、この協定締結を大変心強く感じております。この場を借りて、改めて厚くお礼申し上げます。

本日举行されるさまざまな行事を通じて、環境衛生に対する県民の皆さまの意識が一層高まり、快適で住みよいまちづくりにつながることを願っています。

記念行事のご成功と、貴協会のますますのご発展、会員の皆さまのご活躍を心から祈念いたします。



福岡市長
高島 宗一郎

福岡市の発展の支えとなる 記念行事の開催に深く感謝します

「都市ビル環境の日」記念行事が今年も盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会におかれましては、日頃から建築物における衛生的で快適な環境づくりにご尽力いただき、深く感謝いたします。

福岡市は、今年5月に人口が150万人を超え、人と環境と都市の調和がとれた住みやすいまちとして、多くの市民に満足いただいております。海外のメディアからも高い評価をいただいております。福岡市は、このような強みを一層磨きながら、多くの人・物・情報が行き交う拠点都市「アジアのリーダー都市」を目指しています。

多くの人を呼び込み、多くの人が一日の大半を過ごす場所である建築物は、都市の魅力を形作る重要な構成要素のひとつであり、また市民の快適な生活のために不可欠な存在です。今後、福岡市がさらに魅力溢れる都市へと発展を遂げるためには、都市の安全と安心を確保することが重要であります。建築物におきましても、震災や集中豪雨といった自然災害への備え、省エネルギー化、ユニバーサルデザインへの対応、老朽化したビルの延命化など、さまざまな課題がございます。

このような中、「都市ビル環境の日」として、建築物の防災や衛生的環境に関するシンポジウム、都市の美化運動である「クリーンアップ福岡」等が行われることは大変意義深いことであり、福岡市の発展の大きな支えになるものと期待しております。

会員の皆様方におかれましては、福岡のまちづくりのパートナーとして、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会の今後ますますのご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を心からお祈りいたします。



北九州市長
北橋 健治

住みよい北九州市の創造に向け 引き続きご支援をお願いします

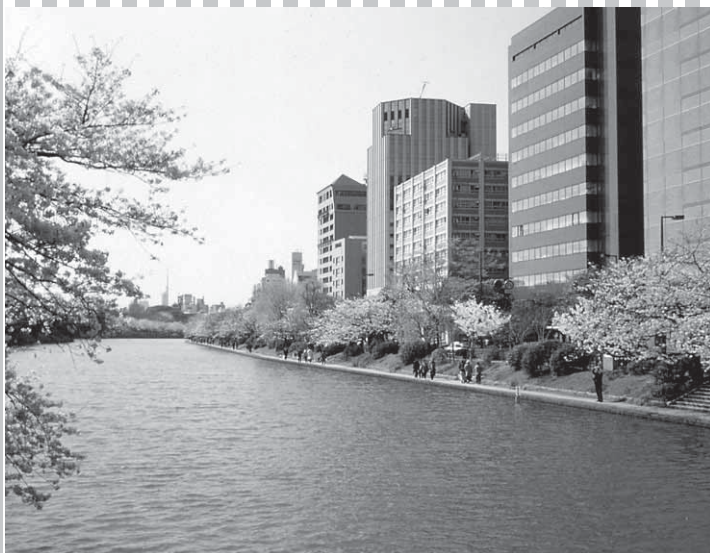
「都市ビル環境の日」記念行事が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会の皆様におかれましては、日ごろから、建築物の快適な環境と安全性を確保するため、ビルの維持管理業務を通じて、技術や知識の向上に努められるとともに、関係業界の指導育成と地域の環境衛生の改善にご尽力いただき、厚くお礼を申し上げます。また、毎年10月4日を「都市ビル環境の日」と定め、シンポジウムの開催や県内各地での清掃・美化活動など、住みよい街づくりにも積極的に取り組んでいただいております。深く感謝申し上げます。

今年も、都市の美化運動「クリーンアップ福岡」とあわせて、「ビルメンテナンス業の役割と使命～災害時における復旧支援～」をテーマに、自然災害と省エネルギーについて考えるシンポジウムが開催されます。ご来場の皆様が、「防災」や「エネルギー」に関する認識や知識を深めるきっかけになるとともに、住みよい街づくりがさらに広がることを期待しております。

本市は、今年2月に市制50周年を迎えました。誕生から半世紀という節目の年を皆様と共に祝い、これまでの50年を振り返るとともに、これからの50年を展望することで、未来へつなげる年にするため、さまざまな記念事業を実施しています。市民・産業界と行政が一体となった市民太陽光発電所の建設や、市民自らが企画・実施する「市民公募50事業」、そして、来年2月には、記念事業のフィナーレとして、本市初のフルマラソンである「北九州マラソン」を開催します。次の50年に向かって力強く新たな一步を踏み出し、子どもから高齢者まで、みんなが夢と希望を持ちながら、いきいきと暮らせる住みよい北九州市を創ってまいりますので、引き続きご支援・ご協力をお願いいたします。

結びに、公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会の今後ますますのご発展と、会員の皆様のご健勝・ご活躍を祈念して、挨拶とさせていただきます。

10月4日 「都市ビル環境の日」 設定趣旨



コミュニティの快適な環境創造をめざして

For a comfortable environmental creation of the community

林立するビル、縦横に走る高速道路、地下を走る公共鉄道。都市のイメージは、巨大な構造物で語られがちです。しかし、その都市のなかでは日々仕事に汗を流し、営々と生活を続けている多くの人々がいることを忘れてはなりません。人類の生命活動から考えるならば、都市は人々が交流するコミュニティと捉えることができます。生活空間、仕事空間、あるいは余暇空間など、様々な都会空間のなかで小さなコミュニティを築き、そのコミュニティが交流し合いながら大きなコミュニティを形成してきました。

私たちビルメンテナンスは、ビルという構造物を単にメンテナンスするだけでなく、このコミュニティを常に快適な状態に維持しようと努めてきました。仕事の間としての事務所ビル、生活の間としての高層住宅ビル、余暇の間としての興業場ビル、健康回復の間としての病院ビル。ビルは都市機能の重要な要素というだけでなく、そのビルで営まれる様々なコミュニティこそ都市機能の基盤であり、私たちは、そのコミュニティを安全かつ衛生的で、快適な環境に創り上げていくことを基本的な目的としています。

したがって私たちは、コミュニティの結び付きで形成されてきた都市の環境全般に対しても無関心ではられません。個々のビルの快適環境だけでは、都市環境はバランスを欠きます。個々のビルが所属する地域の環境を良好にしてはじめて、そのビルが地域コミュニティに存在する意味があると考えます。その積み重ねのなかで都市全体を快適な環境に創り上げ、市民が豊かで住みやすい街として愛することのできる都市に育てていかなければなりません。

福岡県は、福岡市と北九州市の百万都市を抱えながらも、幸いにして自然と身近に接する環境に恵まれています。私たちは、その自然と融合できる都市環境を築き上げていかなければなりません。

公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会は、自らの仕事が都市との強い結び付きのあることを考え、住みよい街づくりに貢献していくことを目的として、10月4日を「都市ビル環境の日」と定め、県民に都市の環境づくりを積極的にアピールしていきます。



ビルメンテナンス業の役割と使命

－災害時における復旧支援－

都市化の進展に伴い、都市の形態及び生活様式は著しく変貌しています。昭和45年に制定された「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」においては、建築物維持管理に関し公衆衛生の向上及び増進に資することを目的としており、近年、衛生的で快適な生活環境の確保と同時により一層の付随した防災対応、省エネルギー対応など配慮型の建築物への関心が高まり、私たち建築物の環境衛生を取り巻く業界も大きく変化してきました。

こうした都市環境の中で、福岡においては地震、水害等の自然災害の態様も頻発化し、特に不特定多数出入りする高層建築物などの災害においては、きわめて人命損傷危険が高く、憂慮されるところであります。

日本各地で発生している自然災害を転機にして、建築物オーナーや利用者の防災と安全に対する意識や省エネ意識がより増して求められ、必要不可欠な時代となりました。

公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会では、本年度、福岡県と災害時における復旧応援業務を締結し、自然災害に関して私たちが如何に社会に貢献することができるか、尚且つ時代に即したこれから求められるビルメンテナンス業の役割と使命を考え、市県民の皆様方にとって縁の下の力持ち的存在として発信してまいります。

プログラム



日 時：平成25年10月4日（金）13：00～16：00

会 場：アクロス福岡（1階 円形ホール）

13：00 受付開始

13：30 開会挨拶

公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会 会長 金子 誠

13：35 来賓挨拶

福岡県知事 小川 洋

福岡市長 高島宗一郎

北九州市長 北橋 健治

13：50 第6回子ども絵画コンクール入選作品発表

14：00 基調講演 「福岡市の防災・減災 ～覚えておこう！災害への対応～」

福岡市市民局 防災・危機管理課 課長 安武 逸郎

15：00 休 憩

15：10 公開対談「福岡県との災害時における復旧応援業務に関する協定締結について」

公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会 後藤 元生
地域防災ネットワーク部会長

公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会 吉次 正利
「都市ビル環境の日」シンポジウム実行委員長

16：00 閉会挨拶

公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会 副会長 古賀 修

クリーンアップ 福岡



日 時：平成25年10月4日（金）9：30～11：00

会 場：福岡県内主要都市中心部及び会員受託物件の周辺
公共施設の清掃及びゴミ収集等を実施

第6回 子ども絵画 コンクール



福岡 | 作品展示期間：平成25年9月30日（月）～ 10月6日（日）
展示場所：アクロス福岡 1 階コミュニケーションエリア

北九州 | 作品展示期間：平成25年10月9日（水）～ 10月14日（月）
展示場所：グリーンパーク（北九州市若松区大字竹並1006番地）

久留米 | 作品展示期間：平成25年10月17日（木）～ 10月24日（木）〈予定〉
展示場所：久留米市役所2Fホワイエ（くるみホール前）
（久留米市城南町15番地3）

基 調 講 演

〈テーマ〉



講 師

福岡市市民局 防災・危機管理課
課長

やす たけ い ち ろ う
安 武 逸 郎

福岡市の防災・減災～覚えておこう！災害への対応～

福岡市では、過去に平成11年6月、平成15年7月、平成21年7月と大きな浸水被害を受けてきました。最近も全国各地で集中豪雨が頻発し、今年も西日本から北日本の各地で降った激しい雨は、甚大な被害を引き起こしています。

風水害や地震などの大規模災害時において、被害の拡大を最小限に抑えるためには、家庭や地域そして企業等における事前の備えや、自主的な防災活動が重要な役割を果たします。

いざというときに備え、日頃からの防災対策などについて分かりやすく説明します。

◎講師プロフィール

1978年4月 福岡市役所入庁
2009年4月 教育委員会学校計画課長
2012年4月 市民局防災・危機管理課長（危機管理担当）
2013年4月 〃（防災担当）

公開対談

〈テーマ〉

福岡県との災害時における復旧応援業務に関する協定締結について



後藤 元生

公益社団法人 福岡県ビルメンテナンス協会
地域防災ネットワーク部会長
(株)九州総合管理 代表取締役

平成25年8月2日、(公社)福岡県ビルメンテナンス協会と福岡県との間で、「災害時における復旧応援業務に関する協定」が締結されました。

本協定締結の意義と災害時におけるビルメンテナンス業の役割などについて、幅広い視点から語り合ってください。



吉次 正利

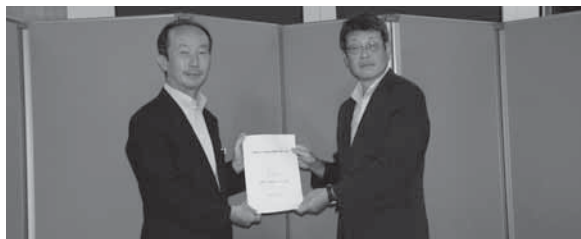
公益社団法人 福岡県ビルメンテナンス協会
「都市ビル環境の日」シンポジウム実行委員長
吉次商事(株)代表取締役社長

福岡県と災害時における復旧応援業務に関する協定を締結

平成25年8月2日（金）、福岡県と公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会は、「災害時における復旧応援業務に関する協定」を締結しました。

この協定は、福岡県内において地震等の大規模災害が発生した場合に、県が当協会に公共建築物の清掃・消毒等の協力を要請できる内容であり、当協会は迅速かつ確に復旧応援業務に取り組むものです。

協定書を手にする福岡県総務部防災危機管理局の
中島浩局長（左）と金子会長





福岡



北九州

「クリーンアップ福岡」に参集！

都市ビル環境の日部会 仲前 友明 (株)シンコー

今年の夏は、例年にない猛暑の中で、会員の皆様お仕事ご苦労様でした。日本列島は各地で豪雨が発生し、桜島の大噴火などが起こり、未だ災害が絶えません。

今年の都市ビル環境の日は、「ビルメンテナンス業の役割と使命-災害時における復旧支援-」をテーマとして掲げ、当協会としても社会貢献の一環として活動する時期が到来したと思います。

一方、このような中、日本の象徴である富士山が世界遺産登録になるという大変喜ばしい出来事もありました。ちなみに、日本の世界遺産登録は、文化遺産が13ヶ所、自然遺産が4ヶ所認定されています。

さて、大袈裟かも知れませんが世界遺産の美観を目標に、いよいよ10月4日（金）に「クリーンアップ福岡」を実施致します。各地区会員の方々、奮ってご参加ください。

シンポジウムについては、今年もアクロス福岡の1階円形ホールにて、前述のテーマで13時30分から開催致します。大変重要なテーマとなっておりますので、会員の皆様、是非ご出席の程よろしくお願い致します。

最後になりましたが、当行事は公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会の看板行事です。また、来年はいよいよ20回目の節目の年となります。来年へ繋げる年にするためにも、会員及び賛助会員の皆様方のご協力の程よろしくお願い致します。



久留米



太宰府



大川



甘木



行橋



飯塚



田川

写真はいずれも2012年10月4日実施分

会 場

公益財団法人アクロス福岡

〒810-0001 福岡市中央区天神1丁目1番1号
TEL. (092) 725-9111 (代表)



- 地下鉄空港線「天神」駅16番出口から徒歩3分
- 地下鉄七隈線「天神南」駅5番出口から徒歩3分
- ※地下鉄空港線「天神」駅16番出口から
アクロス福岡地下2階へ直接入館できます。

主 催

公益社団法人 福岡県ビルメンテナンス協会

〒812-0011
福岡市博多区博多駅前1丁目15番12号 藤田ビル2階
TEL (092) 481-0431 FAX (092) 481-0432

後 援

福 岡 県

協 賛

公益財団法人日本建築衛生管理教育センター

一般社団法人福岡県警備業協会

公益社団法人福岡県産業廃棄物協会

公益社団法人福岡県建築士会

一般社団法人マンション管理業協会九州支部

一般社団法人全国管洗浄協会

公益社団法人全国建築物飲料水管理協会九州支部

福岡県管工事業協同組合連合会

一般社団法人福岡県ペストコントロール協会

九州ガラス外装クリーニング協会